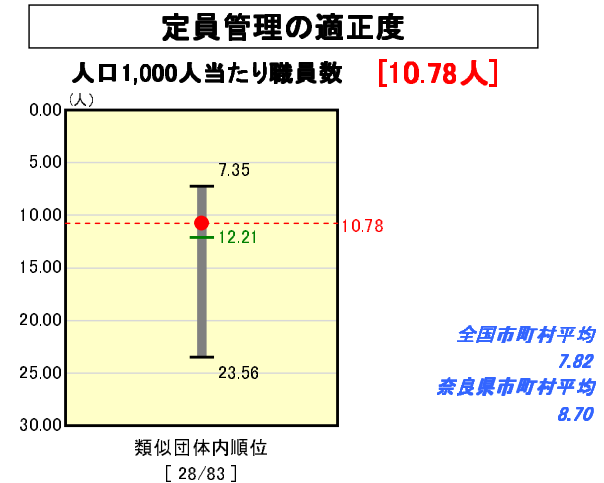
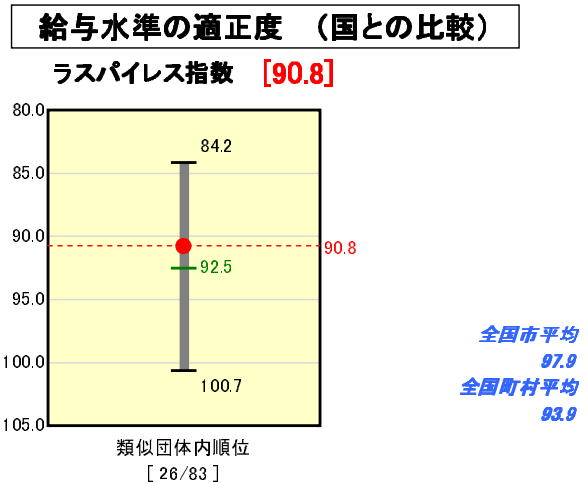
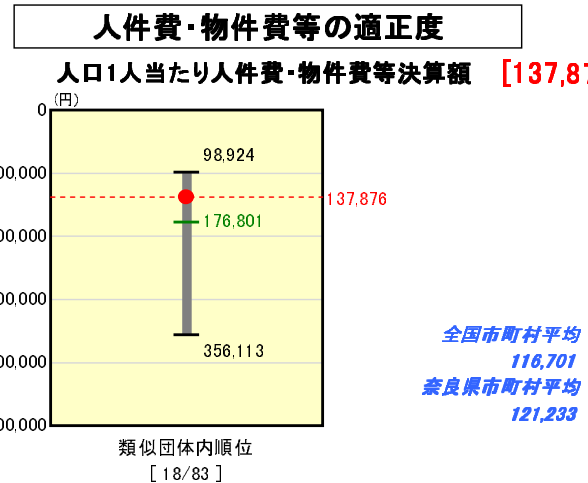
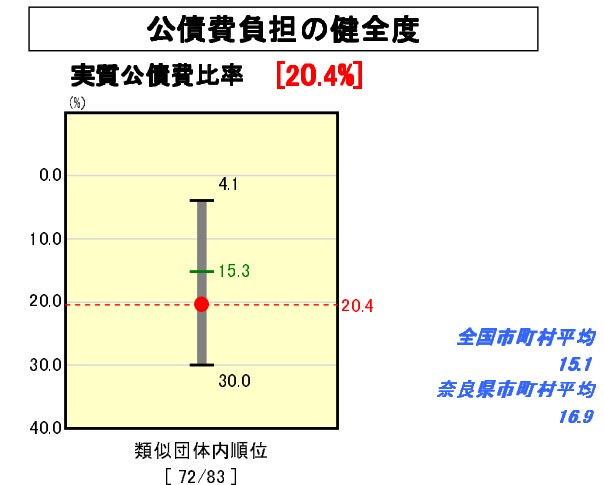
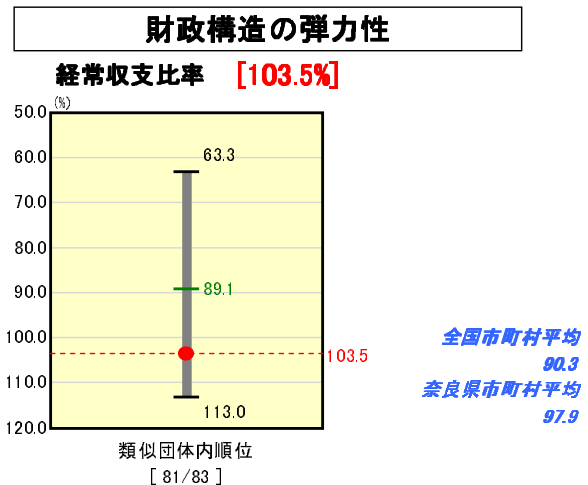
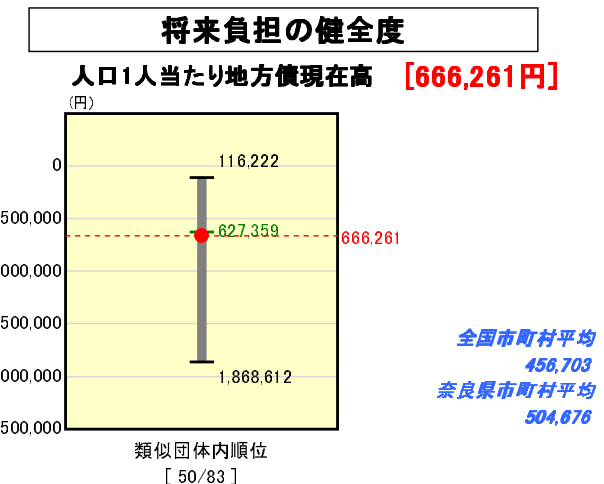
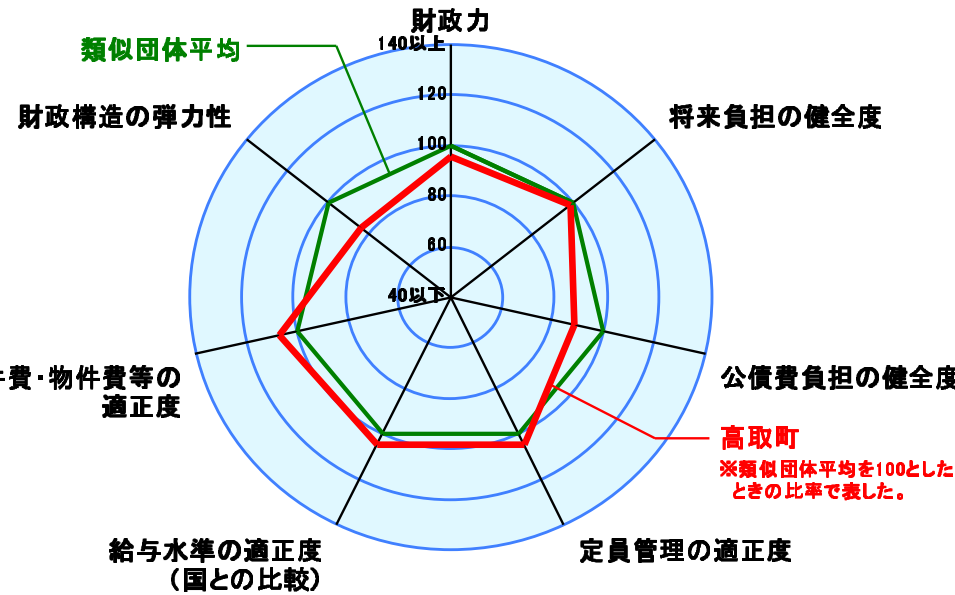
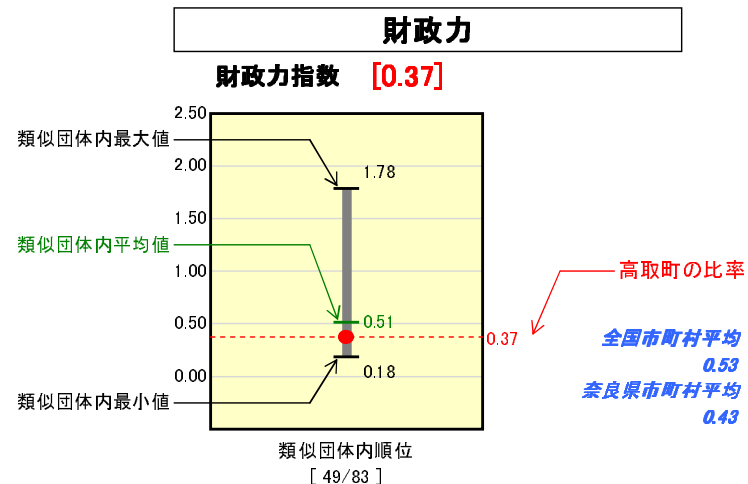


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

奈良県 高取町

人口	7,977 人(H19.3.31現在)
面積	25.77 km ²
歳入総額	3,297,547 千円
歳出総額	3,473,466 千円
実質収支	-190,650 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- * 財政力……基準財政需要額の減によるものと基準財政収入額の増によるもの。
- * 財政構造の弾力性……経常一般財源収入の急減に比べ、経常一般財源支出の抑制が図れなかったため。
- * 公債費負担の健全度……公債費の償還に比べ、交付税に伴う事業費補正・公債費の減少があったため。
- * 将来負担の健全度……公債費の償還条件等も検討しながら、公債費抑制に努めているが、町内人口の減少も要因となっている。
- * 給与水準の適正度(国との比較)……給料の減額措置に伴うもの。
- * 定員管理の適正度……退職不補充を実施しながら職員の減少に努めているが、町内人口の減少も要因となっている。
- * 人件費・物件費等の適正度……人件費・物件費等を抑制しているものの新規事業に伴う経費が嵩むため。